

<事業譲渡証明書の記入例>

○記載事項の説明

- ① 譲渡人 営業を譲渡した方・法人を記入してください。
- ② 譲受人 営業を譲り受けた方・法人を記入してください。
- 個人間での譲渡、法人間での譲渡、個人と法人間での譲渡の各場合に応じて、①②の欄を記入してください。
- ③ 譲渡の年月日 譲渡の年月日が令和5年12月12日以前の場合は、新規の開設の届出が必要となります。

(留意事項)

譲渡した施設について未届けの変更事項がある場合は、承継の届出のほかに変更の届出が必要となります。

施設について同一性が認められないような大幅な変更がある場合は、新規の開設の届出が必要となる場合があります。

譲渡人と譲受人の間で、あらかじめ対象施設の届出内容や図面等について十分に共有し、必要な届出等を確認してください。また、譲受人は譲渡人が保健所に提出した図面等を適切に管理してください。

譲渡人に譲渡の事実を確認させていただく場合がありますのでご了承ください。

譲渡により営業を承継した場合、譲受人の業務の状況について、保健センターの職員が調査を行います。

事業譲渡証明書

年 月 日

① 譲渡人 住所 **名古屋市中区三の丸三丁目1番1号**

氏名 **名古屋 城太郎**

② 譲受人 住所 **名古屋市中村区松原町1丁目23番地の1**

氏名 **中村 中太郎**

（法人の場合は、その名称、主な事務所の所在地及び代表者の氏名）

譲渡人から譲受人へ、下記の美容所の営業を譲渡したことを証明します。

記

施設名称	シティ・ホール美容室
施設所在地	名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
③ 譲渡の年月日	令和5年12月13日